



遠野市総合計画 後期基本計画

まちづくり指標平成25年度実績一覧

平成26年7月28日

遠 野 市

遠野市総合計画後期基本計画まちづくり指標（平成25年度実績）

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (21年度)	年度別目標と実績					達成状況	達成率	成果・評価	担当課
		指標名	単位		区分	23年度	24年度	25年度	26年度				
1 自然を愛し共生する まちづくり (33指標)	1	市民一人当たりの一年間のごみ排出量	Kg	299	目標値 293	290	287	284	281	概ね達成	90.8	遠野市全体のごみ排出量は平成24年度に比べ可燃ごみは減少(48t)したが、資源ごみの排出量が増加(53t)したことから目標値に達しなかった。 資源ごみの排出量が増えたことは正しいごみの分別が図られてきているところである。 今後も目標達成に向け、市民一体でごみの減量に取り組んでいく。	環境課
	2	廃棄物のリサイクル回収量	t	242	目標値 247	252	257	262	267	達成	112.1	資源集団回収は定着しているが、中学校の再編成で資源集団回収を行わなくなった地域があり、回収量は昨年度を下回った。 今後もさらにPR活動を実施する。	環境課
	3	市民環境団体登録数	団体	37	目標値 56	57	58	59	60	達成	112.1	自然環境保護団体5団体、子どもエコクラブ16団体、資源集団回収44団体が登録となっている。 今後も継続して団体の増加を図っていく。	環境課
	4	小中学校の環境学習の実施	回	63	目標値 66	69	72	75	78	概ね達成	95.8	小中学校水生生物調査19回、子どもエコクラブ41回、清養園クリーンセンター9回の合計69回実施した。 中学校再編成による実施団体の減少や、悪天候により水生生物調査を実施できなかった団体があったため、実施回数の減少となった。	環境課
	5	子どもエコクラブ登録会員数	人	201	目標値 259	270	281	292	300	達成	128.1	登録クラブ数は減少したが、小学校の全校生徒が加入した団体もあり会員数は増加となった。 (24年度 17団体、25年度 16団体)	環境課
	6	公営住宅整備戸数	戸	12	目標値 12	10	—	—	—	未達成	—	解体工事8戸を実施した。	建設課
	7	木造住宅耐震診断戸数	戸	5	目標値 20	20	20	20	20	未達成	25.0	平成17年度から実施し、平成25年度に5戸の計156戸の診断を行った。 申し込みが増えない要因としては、今まで大丈夫だったからの理由で、耐震診断をしないで住宅の老朽してきている設備や内装等をリフォームしていること。そして、耐震診断の結果で耐震補強工事を実施するには多額の費用がかかることから、診断を行うことに慎重になっている等があげられる。 今後も広報、遠野TV、関係団体、設計事務所及び建築業者を通じて、継続して事業のPRに努めていく。	都市計画課
	8	木造住宅耐震改修戸数	戸	1	目標値 5	5	5	5	5	未達成	0.0	平成19年度から実施し、平成25年度までに11戸が耐震改修を行った。 耐震診断を実施した方で、耐震補強工事が必要であるという結果になっても耐震補強工事に多額の費用がかかることから、改修を実施する方が伸び悩んでいる状況にある。 今後も、耐震診断と耐震改修の活用PRと併せて、快適スマイル応援事業等の助成事業の活用をセットとしたPRを継続して行うとともに、機会を捉えて関係団体等への周知を図っていく。	都市計画課
	9	土地区画整理事業における整備面積（累計）	ha	43.3	目標値 46.4	48.1	50.4	50.9	51.3	達成	100.0	土地区画整理事業の整備面積は、すでに事業完了している稲荷下地区が27.1ha、平成25年度事業完了の下一日市地区が5.1haであり、2地区の合計面積が、32.2haとなっている。 現在整備中の稲荷下第二地区は、平成25年度に0.7haを整備し、累計で18.2ha（進捗率92.3%）となり、土地区画整理事業全体の整備予定面積51.9haに対し50.4haを整備した。	都市計画課
	10	都市公園整備面積（累計）	ha	49.47	目標値 49.47	49.47	49.87	49.87	49.87	概ね達成	99.2	都市公園の整備計画は当面なく、稲荷下第二地区土地区画整理事業による公園整備を進めていく。	都市計画課
	11	水道普及率	%	90.3	目標値 90.6	90.7	90.9	91.1	91.2	達成	100.0	平成25年度の水世帯数は、前年度と比較して簡易水道が15戸の減となったものの上水道が91戸の増となったことから、水道普及率は0.1ポイントの増となった。 給水人口は減少しているものの、給水世帯数は3年連続の増となった。	水道事務所
	12	汚水処理整備率	%	56.3	目標値 60.5	62.4	64.4	66.5	68.5	概ね達成	96.1	東穀町及び遠野町の下水道整備を行ったが、新規供用開始面積の増加が少なく、下水道管渠に接続可能な世帯数及び人口の増加が、計画より若干下回った。	水道事務所
	13	汚水衛生処理率（水洗化率）	%	44.5	目標値 49.0	51.1	53.4	55.7	57.9	概ね達成	99.8	浄化槽設置事業の拡充等(青笹2区の設置組合団体設立と活動)により、浄化槽の設置が前年度と比べ30基増加(63⇒93)したが、公共下水道住宅接続が去年より減少(申請ベース108⇒79)したため、算定数値が計画より若干下回った。	水道事務所
	14	水洗化率	%	79.1	目標値 81.0	81.9	82.9	83.8	84.6	達成	104.0	浄化槽設置事業の拡充等(青笹2区の設置組合団体設立と活動)により、浄化槽の設置が前年度と比べ30基増加(63⇒93)し、算定数値が計画より上回った。	水道事務所
	15	市道改良率	%	48.1	目標値 48.1	48.1	48.2	48.3	48.3	達成	100.6	全延長1,290,360m、改良延長625,319mを整備した。今後も良好な維持管理に努め、市道改良工事を促進する。	建設課

遠野市総合計画後期基本計画まちづくり指標（平成25年度実績）

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (21年度)	年度別目標と実績					達成状況	達成率	成果・評価	担当課
		指標名	単位		区分	23年度	24年度	25年度	26年度				
1 自然を愛し共生する まちづくり (33指標)	16	市道舗装率	%	46.0	目標値 46.2 実績 44.6	46.3 44.6	46.4 44.9	46.4	46.5	概ね達成	96.8	全延長1,290,360m、舗装延長579,459mを整備した。今後も良好な維持管理に努め、市道舗装工事を促進する。	建設課
	17	自主防災組織活動支援数（累計）	団体	—	目標値 5 実績 11	10 20	15 30	20	25	達成	200.0	90行政区中86行政区が結成済みである。未結成の4行政区については個別に結成を促している。更に30の組織に対して活動支援を実施し、地域防災力の強化を図った。	消防総務課
	18	救急救命士の数（累計）	人	10	目標値 13 実績 13	14 14	15 14	16	17	概ね達成	93.3	25年度においても新たに1人が有資格者となったが、有資格者の退職者が1人あったことから、目標値に届かなかった。	消防総務課
	19	防災関係講習会等の参加者数	人	—	目標値 300 実績 1,170	350 1,188	400 1,050	450	500	達成	262.5	チャレンジ防災スクールや防火防災教室等を開催し、防災意識の高揚を図った。今後も、防災フェア、チャレンジ防災スクール、防災リーダー研修会、防火防災講習会等を開催し防災意識の高揚を図る。	消防総務課
	20	消防水利の整備（累計）	箇所	消火栓 866	目標値 869 実績 872	871 872	873 874	875	877	/	100.1	遠野市消防水利計画に基づき、消火栓2基を新設した。また、既設の実情を踏まえて移設4基を行い、消防水利の充実に努めた。 ・新設消火栓 綾織町上線、宮守町下宮守 ・移設消火栓 東上組町、綾織町根岸、宮守町達達部、松崎町白岩	保安施設課
	防火水槽 142			目標値 148 実績 149	149 149	150 149	151	152					
	計			目標値 1,017 実績 1,021	1,020 1,021	1,023 1,023	1,026	1,029	達成	100.0	今後も水利不便地域及び消防水利の充足率向上を図るため、自然水利や防火水槽及び消火栓設置状況を考慮し、計画的に整備を図る。		
	21	消防団ポンプの更新整備	台	消防団 2	目標値 2 実績 2	2 2	2 2	3	2	達成	100.0	松崎町新張地区の旧消防庁舎跡地に、遠野市消防団第5分団第6部の新設部を配置したことから、消防ポンプ自動車を配備した。また、総務省消防庁無償貸付事業により、資機材（小型ポンプ）を上郷町板沢の第8分団第6部に配備するなど積極的に更新整備を図った。	保安施設課
	22	小型ポンプ積載車の更新整備	台	消防団 2	目標値 2 実績 2	2 2	2 1	5	6	未達成	50.0	総務省消防庁の無償貸付事業により、救助資機材搭載型消防団車両（小型ポンプ積載車）を上郷町板沢第8分団第6部に配備する成果を上げたが、消防団新設部の第5分団第6部に消防ポンプ自動車を配備したことにより、計画が変更となった。今後も小型ポンプ積載車の老朽化が進むため、計画的な更新整備を進める。	保安施設課
	23	特殊車両の更新整備	台	消防本部 0	目標値 1 実績 1	1 1	1 0	—	1	未達成	0.0	救助工作車更新整備計画の見直しにより、27年度に向けて整備を進める。	保安施設課
24	コミュニティ消防センターの更新整備	箇所	消防屯所 0	目標値 1 実績 1	0 0	2 1	1	1	未達成	50.0	遠野市消防団新設部第5分団第6部の屯所と合築した新張地区コミュニティ消防センターを整備した。消防屯所の老朽化による更新整備は、コミュニティ消防センターとの合築を含めて地域との調整を図り、更新整備に努める。 蓬田地区コミュニティ消防センター建設は、地域の用地の要望が区中心部なため、調整に時間を要し、達成できなかった。今後は、地域との調整を慎重に進めながら、早めに用地を決定し、整備に向けて取り組んでいく。	保安施設課	
25	応急手当講習会参加者数	人	1,707	目標値 1,500 実績 1,785	1,500 1,637	1,600 2,471	1,600	1,600	達成	154.4	参加者数は、前年度実績及び目標値を大幅に上回った。救命入門コース等が増加した。 救命入門コース 24回 653人 普通救命講習Ⅰ（3時間） 36回 881人 普通救命講習Ⅱ（4時間） 19回 192人 普通救命講習Ⅲ（3時間） 13回 184人 その他講習 9回 539人 上級救命講習（8時間） 1回 14人 応急手当普及員講習（24時間） 2回 8人 合計 104回 2,471人	遠野消防署	
26	応急手当普及員養成人数	人	—	目標値 22 実績 13	34 9	14 8	14	14	未達成	57.1	講習時間が24時間（3日間）と長時間であることから、受講しやすい日程（例：金・土・日、3週間）としたが、8人（学生2人、保育協会3人、その他3人）の養成にとどまった。	遠野消防署	
27	火災発生率（1万人当りの出火割合）	—	5.9	目標値 2.7 実績 4.8	2.7 5.7	2.7 6.1	2.7	2.7	未達成	44.3	火災件数が18件と前年より1件増加した。要因としては野外焼却（火入れ）による延焼拡大及び不始末であった。 引き続き、防災行政無線・IP告知放送による市民への注意喚起及び消防署・消防団による巡回警戒を強化し、火災予防に努める。 火災件数 建物4件、林野1件、車両2件、その他11件	遠野消防署	
28	消防団員の確保	人	892	目標値 930 実績 891	980 921	1,000 935	1,010	1,030	概ね達成	93.5	入団者を49人確保し増員を図ったが、退団者が35人あった。引き続き、団員の確保（加入促進）に努める。	遠野消防署	

遠野市総合計画後期基本計画まちづくり指標（平成25年度実績）

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (21年度)	年度別目標と実績					達成状況	達成率	成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	23年度	24年度	25年度	26年度					27年度
1 自然を愛し共生する まちづくり (33指標)	29	防犯教室の開催数	回	48	目標値	50	50	50	50	50	未達成	82.0	小学生や高齢者を対象とした教室等を開催し、防犯意識の醸成、高齢者を対象とした振り込み詐欺への対処法などを講習。開催回数が目標に達していないことから、地区の防犯協会や駐在所からの要請による開催だけでなく、各種団体の会合、集いの機会をとらえ、短時間でも講習の機会を設け、より広く理解が図られるよう工夫し、目標達成に努める。	市民協働課
					実績	39	42	41						
	30	消費生活相談講座の開催	回	36	目標値	18	18	18	18	18	未達成	61.1	高齢者を対象とした出前相談講座の開催回数は昨年度を下回ったが、高齢者福祉部門と消費生活部門が連携し、電話や訪問により定期的な見守り注意喚起を行う高齢者被害防止対策事業を実施した。今後とも、各種団体と連携し出前講座の受講機会拡大を図り、消費者教育・啓発活動の充実を図る。	市民協働課
						実績	1	17	11					
	31	交通事故発生件数	件	81	目標値	80	70	60	50	40	達成	115.4	目標を達成することができたが、依然と高齢者が関係する事故が多いことから、交通安全関係団体による街頭啓発や交通安全意識の啓蒙活動を継続する。	市民協働課
						実績	63	75	52					
	32	交通事故死亡者数	人	1	目標値	0	0	0	0	0	未達成	0.0	車両同士、車両と自転車、車両と歩行者の3件の交通死亡事故が発生した。今後も引き続き「交通死亡事故ゼロ」を目指し、特に高齢者、自転車の交通事故防止の活動を推進する。	市民協働課
					実績	2	2	3						
	33	ケーブルテレビ加入率(全体)	%	69.5	目標値	80.8	80.9	81.0	81.1	81.2	達成	103.2	被災地等からの転入世帯(17件)や、震災復興関係企業等の事業所開設(8件)があり、目標値を上回る実績となった。 また、NHKやデジサポと連携した難視聴対策に係る補助事業の技術支援を行うなど、遠野テレビによる地デジ対応を希望する者へのサポートを継続して行った。	管理情報担当
					実績	81.9	83.0	83.6						
	34	遠野テレビインターネット加入者数	人	2,335	目標値	2,550	2,610	2,670	2,730	2,790	達成	114.5	平成24年度に取り組んだインターネット加入促進の成果により、目標件数を達成した。 しかしながら、大手通信事業者のエリア化の影響で大きく加入者を奪われる状況(△48件)となっている。タブレットの独自アプリケーションやWi-Fiスポットの整備など、遠野テレビの独自サービスの強化による加入者の引き戻しを図る必要がある。	管理情報担当
					実績	2,719	3,104	3,056						
2 健やかに人が輝くま ちづくり (24指標)	35	特定健康診査受診率	%	44.3	目標値	60.0	65.0	65.0	65.0	65.0	未達成	75.1	第2期特定健康診査等実施計画の初年度である平成25年度は、受診者数の増加を目的に開始した眼底・心電図検査の継続、未受診者に対する保健推進委員の訪問による受診勧奨を行いながら、土・日、夕方及び冬期間(農閑期)の検診日程の追加により、受診機会の拡大に努めた。受診率(暫定値)の目標は、未達成で前年度対比で1.4ポイント減少となったものの受診環境の改善は図られた。(H20年度:41.9%、H21年度:44.3%、H22年度:47.6%、H23年度:50.1%、H24年度:50.2% ※H25年度受診率は暫定値であり、最終確定は平成26年10月末)	保健医療課
					実績	50.1	50.2	48.8 (暫定値)						
	36	特定保健指導実施率	%	32.2	目標値	40.0	45.0	45.0	45.0	45.0	未達成	84.7	第2期特定健康診査等実施計画の初年度である平成25年度は、継続して指導を受ける対象者の固定化や受診するものの保健指導を拒否する対象者が増加し、実施率は未達成で前年度対比で7.8ポイント減少となった。拒否する対象者は、多忙を理由とした就労世代に多く、土・日や夜間の面接機会を設定し積極的に呼びかけたが面接に結びつかなかった。しかし、対象者数では、前年度の508人から457人に減少(前年度対比で10ポイントの減少)したことは、従来からの保健指導の成果であった。	保健医療課
						実績	26.1	45.9	38.1					
	37	健康づくりサポーターが普及啓発した市民の割合	%	57.0	目標値	58.0	59.0	60.0	60.0	60.0	達成	101.5	岩手県が脳卒中死亡ワースト1になったことから脱脳卒中運動の取組みとして、食生活改善では、減塩や野菜料理をもう一品増やすこと、運動普及では、ラジオ体操やウォーキングなどの軽運動を普及し、目標を達成した。	保健医療課
						実績	59.9	63.2	60.9					
	38	朝食を食べる子どもの割合	%	91.0	目標値	92.0	93.0	95.0	95.0	95.0	達成	101.2	児童・生徒を対象とした食育事業「食べ物が育てる元気な遠野っ子事業」を通して、朝食の大切さを伝えることができた。 食育の拠点施設「ばすばる」の開設により、食育講座の開催、学校給食試食会等の依頼が増加し、食育に対する保護者の関心が高まっている。	総合食育推進課
						実績	95.6	93.3	96.1					
39	3歳児のむし歯罹患率	%	34.7	目標値	33.0	33.0	32.0	30.0	30.0	達成	104.9	罹患率の目標を下回り達成した。6～7か月児健診以降、2歳・3歳児の歯科相談等、半年に一度、健診や相談場面を設け、指導を実施してきた成果であり、今後も歯科医師会の協力を得ながら保護者への「むし歯予防」の意識づけを図っていく。	保健医療課	
					実績	30.4	30.7	30.5						
40	スポーツ施設利用者数	人	216,509	目標値	216,600	216,700	216,800	216,900	217,000	未達成	83.6	市営プールは、平成24年8月以降、施設改修のため使用ができなかったこと、また、他の体育館施では国体会場準備のため使用制限をしていたことにより利用者の減となった。 今後も、改修等により利用者の制限が生じるが、国体開催を契機とした競技スポーツ健康づくりの推進を図っていく。	生涯学習スポーツ課	
					実績	215,070	193,801	181,163						
41	医師の確保数	人	2	目標値	1	—	1	—	1	達成	100.0	県立遠野病院に内科医が1名着任した。	地域医療推進室	
					実績	0	1	1						
42	ボランティア登録団体数(累計)	団体	58	目標値	64	66	68	70	72	未達成	85.3	朗読や傾聴など多岐にわたるボランティア団体が活動しており、遠野市ボランティア連絡協議会が、そのとりまとめ役となっている。平成25年度は新規に3団体が登録。ボランティア活動の輪が広がることで、地域福祉の増進に寄与している。	福祉課	
					実績	53	55	58						

遠野市総合計画後期基本計画まちづくり指標（平成25年度実績）

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (21年度)	年度別目標と実績					達成状況	達成率	成果・評価	担当課
		指標名	単位		区分	23年度	24年度	25年度	26年度				
2 健やかに人が輝くま ちづくり (24指標)	43	ボランティア登録者数（累計）	人	3,043	目標値 3,100	3,120	3,140	3,160	3,180	未達成	52.3	平成25年度は新規に3団体が登録したが、ふれあいホーム利用者支援団体及びいきいきサロン利用者支援団体等のボランティア登録数は、全体で113人の減となっている。ボランティア登録者の高齢化により利用者支援から利用者に移行している場合もある。	福祉課
					実績 1,653	1,756	1,643						
	44	老人クラブ加入者数（累計）	人	3,176	目標値 3,170	3,170	3,180	3,190	3,200	概ね達成	93.4	60歳を超えても再雇用される方や、健康状態により行事の参加が困難な方などにより、加入者は年々減少している。 引き続き、老人クラブを主体とした加入促進に努める。	生涯学習ス ポーツ課
					実績 3,093	3,038	2,971						
	45	シルバー人材センター会員登録者数（累計）	人	344	目標値 350	350	350	355	355	未達成	69.7	継続して新規会員の勧誘等を行った結果、新入会員は前年度に比べ9人多い26人の入会となったが、加齢による体力低下等のため退会者が56人あり、会員数が減少している。 また、定年後も再雇用により継続して就労することができるため、全国的に会員は減少傾向にあり、当市もその傾向にある。新規受託事業の拡大に向け情報提供を行っていく。	長寿課
					実績 314	274	244						
	46	一人暮らし老人世帯等の見守り回数	回 (見守対象 世帯数)	7,807 (145)	目標値 7,600 (158)	7,900 (168)	8,200 (178)	8,500 (188)	8,800 (198)	概ね達成	96.3	市老人クラブ連合会に委託している「一人暮らし高齢者見守り支援事業」により1世帯に19回の見守り・安否確認を実施した他、配食サービス利用者に対する配達時の見守りや声がけを79世帯に5,469回実施した。元気な高齢者やボランティアによる活動も実施しており、今後ますます期待も高まる中、大きな社会資源となっている。	長寿課
					実績 9,675	9,615	7,893						
	47	健康相談事業参加者数	人	3,742	目標値 2,000	2,000	2,100	2,100	2,200	概ね達成	91.4	各種検診の結果による要指導者への個別相談や精密検査者への受診勧奨を行い、疾病の早期発見・早期受診に努めた。また、高齢者の交流事業などの集会時等における個別相談、電話や来所などによる随時の健康相談を行い、健康の保持増進、不安の解消等を図った。	保健医療課
					実績 2,475	2,291	1,920						
	48	元気楽しく高齢者体力アップ利用者数	人	1,196	目標値 1,000	1,050	1,100	1,150	1,200	達成	154.8	二次予防事業対象者（要支援や要介護の状態になる可能性の高い高齢者）を対象に、介護予防のための効果的な筋力トレーニング及びバランス訓練を行う教室を開催した。継続参加者も増えている。 一次予防事業対象者（元気な一般高齢者）を対象として、セラバンドを用いた軽運動教室を、高齢者が気軽に参加しやすい公民館等で実施した。 参加者からは、教室参加の効果を実感している声が多数聞かれた。また、仲間づくりが図られ、参加者は楽しく参加している。	長寿課
					実績 778	1,470	1,703						
	49	訪問指導延べ人員	人	2,071	目標値 1,400	1,400	1,450	1,450	1,500	達成	127.0	生活習慣病予防に係る要指導者、在宅要介護者やその家族等に対し家庭訪問を行い、生活環境や家族状況などのケースの背景を把握することにより個別性のある支援を図ることができた。	保健医療課
					実績 1,940	1,940	1,841						
50	健康教育参加者数	人	9,488	目標値 3,200	3,300	3,400	3,500	3,600	達成	140.7	市民健康講座をはじめ、自治会集會時や老人クラブ等、地域の集會の機会を活用し健康増進や疾病予防に関する健康教育を実施した。特に岩手県が脳卒中死亡率全国1位となったことを受け、脳卒中予防について地域の健康づくりサポーターと連携のもと知識の普及・啓発を図った。また、介護予防を効果的に推進するため、参加者に応じた各種プログラムの設定及び各地域単位でも教室を開催し、参加者の拡大に努めた。	保健医療課	
				実績 3,910	4,180	4,783							
51	生きがい活動支援通所事業利用回数	回	6,348	目標値 6,500	6,500	6,500	6,600	6,600	概ね達成	95.1	新規利用者が68人あったが、体調不良や要支援・要介護の認定を受ける等利用廃止となる者が55人あった。新規利用者の約半数が80歳以上であり、加齢により外出機会や交流機会が少なくなった高齢者にとって、貴重な活動や交流の場となっている。 H18実績6,618人 H19実績6,341人 H20実績6,643人 H21実績6,348人 H22実績5,846人	長寿課	
				実績 5,830	6,053	6,181							
52	認知症サポーター（累計）	人	1,165	目標値 1,650	1,800	1,950	2,100	2,200	概ね達成	99.6	小学校、生命保険会社や老人クラブ等の各団体を対象に養成講座を開催した。認知症についての正しい理解と、「認知症の方を地域で支えていく」という意識の高揚が図られた。広報紙等を活用した講座開催募集や各種団体等に対する継続した働きかけにより、サポーターの養成につなげていく。	長寿課	
				実績 1,594	1,663	1,942							
53	家族介護教室参加者数	人	276	目標値 270	280	290	300	300	未達成	81.0	遠野市社会福祉協議会に事業を委託し開催。高齢者等を介護している家族や近隣の援助者を対象とした教室を計画に基づき16回開催した。介護方法や介護予防、介護者の健康づくり等についての知識、技術の習得に繋がった。 多くの介護者が参加できるよう、周知方法や開催曜日、開催方法を調整・検討し、介護支援専門員等から協力を得ながら家族介護者に参加を呼び掛けていく。	長寿課	
				実績 175	266	235							
54	家族介護者交流事業参加者数	人	39	目標値 80	85	85	85	90	達成	116.5	遠野市社会福祉協議会に委託して実施。交流と元気回復を目的に宿泊型の交流会を2回、また、日帰り型の交流会を1回行った。 家族介護者にとってリフレッシュの機会となっている。多くの介護者が参加できるよう、周知方法や開催曜日、開催方法を調整・検討し、介護支援専門員等から協力を得ながら家族介護者に参加を呼び掛けていく。	長寿課	
				実績 70	70	99							

遠野市総合計画後期基本計画まちづくり指標（平成25年度実績）

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (21年度)	年度別目標と実績					達成状況	達成率	成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	23年度	24年度	25年度	26年度					27年度
2 健やかに人が輝くま ちづくり (24指標)	55	障がい者グループホーム数（累計）	箇所	5	目標値	7	8	9	10	10	未達成	66.7	6施設（定員32人）を27人（うち市内12人）が利用している。グループホーム数の増とはならなかったが、今後も補助制度に関する情報収集を行い、また、運営する団体との連携を密にするとともに、利用者意向を確認しながら地域移行に向けた体制の整備を図る必要がある。	福祉課
					実績	6	6	6						
	56	障がい者の一般就労者数（累計）	人	40	目標値	42	44	46	48	50	達成	117.4	自立支援協議会就労支援部会内で対象者を把握し、ハローワーク、岩手中部障がい者就業・生活支援センター及び支援学校等構成員の情報共有と個々への支援を行い、新たに4人の方について一般就労につなげることができた。今後も就労者への定着支援を含め、新たな就労につなげられるよう障害者雇用制度の周知や就労支援を行う。	福祉課
					実績	50	50	54						
57	合計特殊出生率	—	1.86	目標値	1.83	1.83	1.83	1.80	1.80	達成	104.4	わらすっこプランによる事業の推進や医療費給付の中学生への拡大など、関係課と連携した子育てにやさしい環境づくりを進めた結果、合計特殊出生率は増加した。（合計特殊出生率は県内13市中1位）今後も「子育てするなら遠野」をスローガンとしたわらすっこ政策を更に発展させ、平成27年度まで1.80台を維持することはもとより、2.08を目指す。 ※ 合計特殊出生率の数値は、県が発表する「保健福祉年報」を適用しており、数値発表までに2年弱を要するため、左記実績値は平成24年度の数値である。	子育て総合支援課	
				実績	1.85	1.91	1.91 (H24)							
58	児童館・児童クラブ年間利用延べ人数	人	120,761	目標値	135,250	135,500	135,750	136,000	136,250	達成	101.3	全体の延べ利用者数は前年度と比べ、1,756人（前年度比1.3%増）の増となり、目標者数を上回った。児童数が減少しているなかで、利用者数が増加した要因としては、共働き世帯の増加等のほか、関係団体・機関と連携し、地域の伝統、文化、行事、祭事について体験する地域交流活動など、特色ある活動に積極的に取り組んだこと等があげられる。今後も、児童の健全育成の場として活動内容の充実や児童館施設の計画的な整備を図り、利用者のニーズに添った管理運営を行う。	子育て総合支援課	
				実績	132,554	135,796	137,552							
3 活力を創意で築くま ちづくり (42指標)	59	野菜契約栽培等の出荷割合	%	25	目標値	30	35	40	45	50	未達成	82.0	野菜販売実績の内、契約栽培（レタス、きゅうり、馬鈴薯、かぼちゃ、とうもろこし等）として取り扱いはある割合。 4月中旬から5月上旬までの低温経過により、果菜類の苗の生育は遅れ気味となった他、干ばつの影響から圃場が乾燥したことにより露地きゅうりを中心に定植後の生育に影響があった。 高齢者でも取り組みやすい軽量品目の提案や販売単価を定める事で、JAの契約品目に取り組み生産者は、延べ122名となっている。 新規就農者や1ターナー、退職者など新たな品目に取り組みを希望する方々に対しても、安定した収入が見込める契約品目として有力であることから、推進していきたい。	農家支援室
					実績	30.5	32.0	32.8						
	60	限定純情米等(減農薬栽培米等)の出荷割合	%	30	目標値	30	32	34	36	38	達成	155.3	遠野産米の差別化販売を目的とした減農薬栽培（あきたこまちの差別化生産）の実績である。減農薬での栽培は、全国的にも標準化されている傾向にあり、遠野産のあきたこまちについても定着してきている。 平成25年度は、8月上旬の記録的な大雨によるかん水被害もあったものの作況指数は「102」という結果であった。 品質面では、落等要因となるカメムシ被害があるものの、畦畔の草刈りも徹底されてきており、地域一斉防除の継続実施による効果がみられた（1等米比率97% JAいわて花巻管内）。	農家支援室
					実績	30.0	53.9	52.8						
61	重点野菜出荷額（ほうれんそう、レタス、ピーマン、きゅうり、ニラ）	百万円	236	目標値	300	350	400	450	500	未達成	46.3	重点品目として位置付けるホウレンソウ、レタス、ピーマン、キュウリ、ニラ、アスパラガスの出荷額。 平成25年度は、春先から6月まで極度の乾燥状態により露地野菜に大きく影響を及ぼしたこともあり、全体的に出荷量が減少したものの高単価取引となり、野菜全体では、昨年比107%という結果であった。軽量野菜として導入から5年が経過しているニラについては、県内でもトップとなり、平成26年度から県内の飲食店での契約取引を開始する予定となっている。また、アスパラガスについては、新規に作付された面積も90aを超える面積となり、平成26年度からの収穫量のアップが期待される。ピーマンについては、選果部門を花巻市へ移行する事により生産者の作業が軽減される。レタスは他産地との出荷競争等厳しい状況が続いており、出荷量も年々減少傾向となっている。 引き続き、アスト事業を有効活用しながら、関係機関と連携し、きめ細かな支援を実施していきたい。	農家支援室	
				実績	236.0	168.1	185.0							
62	重点花き出荷額（トルコギキョウ、りんどう、小菊）	百万円	53	目標値	53	54	55	56	57	達成	125.1	重点花きとして位置付けられている「トルコギキョウ」、「りんどう」、「小菊」の販売額。JA系統と花き研究グループ、産直の実績値である。 トルコギキョウについては、市場から安定した需要と評価を得ている。県内市場への出荷についても伸びている。 市内産直向け栽培も増えており、市外からの需要も多くなってきている。 品質の安定、栽培面積の拡大推進に向けて、アスト事業を有効活用しながら誘導していきたい。	農家支援室	
				実績	36.0	59.8	68.8							

遠野市総合計画後期基本計画まちづくり指標（平成25年度実績）

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (21年度)	年度別目標と実績					達成状況	達成率	成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	23年度	24年度	25年度	26年度					27年度
3 活力を創意で築くま ちづくり (42指標)	63	特産品出荷額（たらの芽）	百万円	11	目標値	13	15	17	19	21	未達成	44.1	冬期間の所得確保対策として、平成17年度から普及している促成栽培の作物である。個人での取り組みが多いが、組合として取り組んでいる団体も2つある。面積的には、県内でもトップとなっているが、栽培年数が5年以上経過したタラノキが多く見受けられるようになってきており、これに伴いカミキリムシの被害も多々発生し、欠株状態となっている圃場が多い。アスト事業で取り入れる微生物農薬導入事業を活用しながら取り組んできたものの、被害木の増加に歯止めがかからない状況。株の更新や害虫駆除に向けた周知を徹底していく必要がある。	農家支援室
					実績	8.6	9.0	7.5						
	64	特産品出荷額（ブルーベリー）	百万円	12	目標値	15	20	25	30	35	未達成	48.0	ブルーベリーの生食用及び加工用の出荷額である。平成25年度は、凍害による影響などで出荷量が大幅に減少した。栽培面積は、県内でもトップクラスとなり、生食販売の他、加工品（ジュース、ジャム、菓子）として定着してきている。全国的ブームは、収まりつつあるが健康食品としての位置付けが定着しつつある。栽培者の大半は、無農薬栽培としての取り組みであり、害虫による被害はあるものの年々樹も大きく成長し収量もアップしてきているが気候に大きく左右される。生食用は産直の他、JAを経由し市内企業への単価契約に基づき出荷されている他、加工用は、宮守町の農産加工施設への委託や県内の加工施設へ委託している。様々な品種が導入されてきているが、気候に適し収量の期待できる品種を選抜するよう普及センター、JAと連携し誘導していきたい。	農家支援室
					実績	13.5	14.0	12.0						
	65	特産品出荷額（菌床しいたけ）	百万円	190	目標値	280	285	290	295	300	達成	111.0	菌床しいたけの出荷額である。原木しいたけが出荷制限されている中、菌床しいたけについても風評被害や燃油の高騰等により厳しい状況が続いている。実績については、目標値を上回っているものの資材費や販売単価に大きく左右されることから低コスト生産及び販路対策について継続した対策が必要である。	農家支援室
					実績	390.0	270.7	322.0						
	66	特用林産物生産量（わさび）	t	6	目標値	6	6	6	6	6	概ね達成	96.7	わさび（根わさび、葉ワサビ、花わさび、根付きわさび）全体の出荷数量である。作付面積（360a）から試算していけば、2年に1回の収穫としても9t程度の出荷量は見込まれるところであり、遊休化されている圃場については、わさび会社が栽培を引き受け栽培している。出荷系統は市場出荷の他、個々での取引も半数程度となっている。平成24年度を生産者個々のアンケート結果から全体の販売額は、およそ35,000千円となっている。また平成25年度の市場単価は、外国産の根わさびが激減したこともあり、例年と比較すると高値で取引される結果となった。林間を活用した「畑わさび」栽培についても今後作付面積を増やすこととしており、今後の普及対策として資材費等の導入や栽培技術の継続した支援が必要である。	農家支援室
実績					6.4	6.9	5.8							
67	特用林産物生産量（原木しいたけ）	t	8	目標値	10	12	14	15	16	未達成	0.0	平成24年5月、遠野産原木しいたけから食品に係る放射性物質濃度の基準値100ベクレル/kgを超えたものが検出されたため、流通が規制されている。引き続き、県と協力し流通規制解除に取り組んでいく。	林業振興課	
				実績	6.4	0.0	0.0							
68	耕作放棄地再生面積	ha	—	目標値	30	30	30	20	10	未達成	6.7	解消（農業再開）した面積は目標30haを下回る1.97haであり、新たに耕作放棄地としての農地は12.1haを確認し、結果として増加した。耕作放棄地解消に向けた取り組みとして、農業委員自ら取り組み主体となって「耕作放棄地解消事業」を実施し、6件1.82ha（耕作放棄地解消1件、0.22ha、不作付地解消5件、1.6ha）と農地利用集積アドバイザーの活動による耕作放棄地解消1件、0.15haの成果があった。今年度は耕作放棄地が増加した結果となったが、取り組みは引き続き関係機関、農地利用集積アドバイザー等と連携を密にした、調査から解消の着実な取り組みの実施と26年度から始める農地中間管理事業の活用による耕作放棄地発生防止と速やかな解消を図る。	農業振興課	
				実績	23.0	72.4	2.0							
69	農産物直売所売上高	百万円	508	目標値	515	575	585	595	600	概ね達成	93.8	遠野市内の農産物直売所の売上額は、前年度と比べて、ほぼ横ばいで推移している。ただし、目標値に対する実績値が、やや下回っている。震災後の一時的な売上の増が、ここに来て一段落を見せたほか、道路交通網の変化に伴い、売上額が大きく変化した直売所がいくつかある。地産地消の推進や地域や集落における経済活動の拠点であるとの観点から直売所の有する意義を認識し、直売所の経営状況を分析した上で、S-L停車場プロジェクト等の観光事業との関連性を高めつつ、購買客に向けた情報発信が適切に行われるための支援が必要である。	農家支援室	
				実績	557.0	552.0	548.5							
70	認定農業者数(累計)	経営体	424	目標値	415	415	415	415	415	概ね達成	91.3	認定期間は5年間であり、平成25年当該年度で更新を迎えた認定農業者は90経営体で、うち再認定を受けた認定農業者は72経営体である。平成25年度中に、新規に認定農業者となった経営体は8経営体、高齢などの要因により辞退した経営体は38経営体であった。よって、「平成24年度未認定農業者409経営体+新規認定農業者8経営体-辞退者38経営体=379経営体」。認定農業者は、将来とも地域における担い手として位置付けられるので、「まちづくり指標」に掲げる目標達成のため、農業振興課に配置している担い手支援アドバイザーと連携して、個別訪問による新規認定農業者の育成を図っていく。	農業振興課	
				実績	422	409	379							

遠野市総合計画後期基本計画まちづくり指標（平成25年度実績）

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (21年度)	年度別目標と実績					達成状況	達成率	成果・評価	担当課		
		指標名	単位		区分	23年度	24年度	25年度	26年度					27年度	
3 活力を創意で築くまちづくり (42指標)	71	家族経営協定件数（累計）	組	149	目標値	182	195	208	221	234	達成	111.5	農業を魅力ある産業とするためには、経営主が家族と経営面、生活面について話し合い、取り決めた事項を文書化し家族一人一人の役割と責任を確認し、それぞれの意欲と能力が十分に発揮できる「家族経営協定」が有効な手段と考えられることから、家族経営協定アドバイザーを主体に、農業委員一人あたり一家族を協定に導くことを目標に取り組んだ。	農業委員会	
					実績	173	209	232							
	72	内水面漁業出荷量（ヤマメほか）	t	37	目標値	36	36	36	36	36	未達成	70.6	前年度より生産量が減産となり、生産額も減額した。原因については、平成24年度の猛暑による高水温、水不足、酸欠等の環境悪化により、成魚とともに稚魚も斃死し、ほとんどの組合員が平成25年度は減産となった。ヤマメ、イワナの生産が著しく減少しているが、銀鮭養殖事業については、計画とおりの生産を行うことができた。高齢化に伴う組合員の減少や餌料の高騰、販路の縮小など不安定な状況にあるが、市の（稚魚放流）事業を有効に活用しながら、安定生産と販路拡大に向けた取り組みの強化が必要である。	農家支援室	
					実績	30.6	32.9	25.4							
	73	農道改良率	%	58.7	目標値	58.8	59.1	59.1	59.1	59.1	概ね達成	99.3	全延長77,881m、改良延長45,691mを整備した。今後も良好な維持管理に努め、農道改良工事を促進する。	建設課	
					実績	58.7	58.7	58.7							
	74	農道舗装率	%	49.2	目標値	48.9	48.7	48.7	48.7	48.7	達成	101.0	全延長77,881m、舗装延長38,341mを整備した。今後も良好な維持管理に努め、農道舗装工事を促進する。	建設課	
					実績	49.2	49.2	49.2							
	75	和牛子牛の出荷頭数	頭	2,066	目標値	2,000	2,000	2,000	2,100	2,400	概ね達成	92.5	和牛子牛相場は、取引価格が近年まれに見る高値が続いたが、依然、当市が抱える高齢化による飼養農家数減少に歯止めがかからない状態である。また、放射性物質被害による牧草地及び放牧場の利用自粛により、受胎率の低下、平均分娩間隔の長期化が発生し、市場取引頭数の減少が発生している。今後は、早期に除染完了を目指すと共に、人口減少に即した生産体制整備のための粗飼料生産基盤の効率化と大規模経営体の育成を促す。なお、本年度一部供用開始予定のキャトルセンターを核とし、新たな生産体制の構築と新規就農者が参入しやすい支援体制の確立を図っていく。	畜産振興課	
					実績	1,942	1,978	1,850							
76	馬生産頭数	頭	28	目標値	28	28	30	30	30	達成	100.0	乗用馬生産者の負担する飼養管理費等の低コスト化を図るため、馬の里の越冬放牧施設の利用を促進するとともに、農用馬生産者の意欲喚起のため遠野産馬生産基盤整備事業の利用を促進し、一定の成果につながった。また、中央馬事団体が馬産継承に係る種雄馬、繁殖牝馬の貸付支援も目標達成の大きな要因となった。	馬事振興課		
				実績	24	25	30								
77	馬市場取引金額	千円	20,010	目標値	21,000	21,500	22,000	23,000	23,500	達成	107.1	市場歴代最高価格335万円を記録し、販売総合計額2,356万円と昨年度を大きく上回り目標値も達成した。 ・遠野産馬情報発信業務委託を行い、ホームページを活用し全国へ向けた情報発信をしたこと。 ・購買者側の意向を踏まえ初めて平日開催としたこと。 ・即戦力となる2歳・3歳馬の育成、調教の強化したこと。 ・新たな血統を導入し係る生産馬を上場したこと。 以上の取り組みが成果につながった。	馬事振興課		
				実績	11,570	16,270	23,560								
78	森林整備面積（年間整備面積） *H21までに間伐等森林整備を推進した結果、間伐対象が減少したことから、平成24年度に目標値を見直した。	ha	644	目標値	650	430	430	430	430	達成	131.4	国の森林整備事業を活用し間伐等森林整備を推進した。また、民有林においては、県民税事業を活用して間伐が行われた。森林整備事業実施面積 564.87ha【市有林 29.42ha（間伐、除伐、造林、下刈）＋県有林 61.18ha（除間伐）＋民有林 74.38ha（県民税事業間伐）＋民有林 399.89ha（除伐、間伐、枝打ち、下刈、造林）】うち、間伐面積 305.93ha【市有林 16.17ha、県有林 61.18ha、民有林 74.38ha（いわて環境の森林整備事業）、民有林 154.2ha】	林業振興課		
				実績	467.73	441.26	564.9								
79	林内道路密度	m/ha	4.7	目標値	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	達成	100.0	全延長183,677m、森林面積38,925haを整備した。県営事業で実施中の林道平野原線の工事を円滑に推進する。	建設課		
				実績	4.7	4.7	4.7								
80	民有林再造林面積	ha	34	目標値	44	60	70	80	90	未達成	80.1	伐採後の再造林を推進するため、平成27年度までに90haの造林を目指すことで事業展開を図る。具体的には、国・県の森林整備事業補助金が造林作業も対象となったことに伴い、市においても平成24年度から嵩上げ補助を実施している。造林に係る経費の約90%の補助が受けられることを森林所有者にアピールし、再造林面積増を図る。	林業振興課		
				実績	36.89	31.40	56.10								
81	木工団地事業体の売上高	億円	11	目標値	12	13	14	15	15	達成	150.0	東日本大震災で被害を受けた沿岸市町村からの復興公営住宅、個人住宅等の受注や、各事業体の経営改善・営業努力の取組の結果、団地全体で売上が伸びている。	林業振興課		
				実績	20	19	21								

遠野市総合計画後期基本計画まちづくり指標（平成25年度実績）

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (21年度)	年度別目標と実績					達成状況	達成率	成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	23年度	24年度	25年度	26年度					27年度
3 活力を創意で築くまちづくり (42指標)	82	公共施設の木造化率	%	31	目標値	40	42	43	44	45	概ね達成	93.0	年間約2%の増加を図り、平成27年度までに45%の木造化率を目指す。平成24年度には遠野中学校の改築で全体4,676.38㎡のうち2,202.89㎡が木造建築となった。 今後は、新庁舎建築への木材利用など、遠野市公共建築物木材利用促進基本方針（平成25年2月策定）に基づき公共施設の木造化を推進する。	林業振興課
					実績	35	40	40						
	83	企業の調査研究費用等支援数（累計）	件	—	目標値	2	4	6	8	10	達成	100.0	遠野ふるさと再生基金による出資1件により目標達成。遠野地域ビジネス支援システム事業に関しては相談が4件（オーバーツ、道の奥ファーム、トリマー、ネイル）あったものの支援には至らなかった。 H23 奥寺ブルーベリー、もくもく絵本、オーバーツ H24 遠野食産業クライスター研究会、もくもく絵本 H25 もくもく絵本	商工観光課
					実績	3	5	6						
	84	産学官民連携による共同研究事業数	件	1	目標値	1	1	1	1	1	未達成	0.0	製造系1社と岩手大学の共同研究に支援予定であったが、他の補助金を活用したため事業実績はなかった。 農産物の生産と加工販売を行っている会社から、新商品開発に係る大学との共同研究の相談があり、平成26年度は事業実施に向けた支援を行う予定である。	商工観光課
					実績	1	0	0						
	85	農商工連携（六次産業化）支援数	件	—	目標値	14	14	14	14	14	未達成	64.3	新商品開発等に関する相談件数は2件あり、H26年度に事業として取り組む予定である。 また、農林水産品の加工、販売などに関する支援は7件であり、すでに販売開始したものもある。	農家支援室 商工観光課
					実績	9	12	9						
	86	企業立地件数（累計）	件	10	目標値	11	12	13	14	15	達成	146.2	市内企業（繊維関係）1社の増設により、高校生等若者の新たな雇用を確保した。 また、企業の設備投資意欲を高め、新規企業誘致及び地場企業増設を促進し、雇用の場の拡充を図るため、固定資産税の免除期間（3年免除その後2年半額減免、つごう4年分免除）を5年に拡充するとともに、奨励措置適用条件の一つである新規雇用者の数を、企業の規模いわゆる資本金の額に応じて4段階に緩和するなど事業所設置奨励条例を一部改正した。 引き続き、IT系企業1社と六次産業関係企業1社の立地に向け折衝する。遠野東工業団地の売却は未達成なので、平成26年度中の売却を目指し積極的に取り組む。	六次産業推進本部
					実績	3 (17)	1 (18)	1 (19)						
	87	中心市街地の観光施設入り込み数	人	51,897	目標値	97,800	98,900	100,000	101,000	102,000	未達成	47.0	震災により整備が遅れていた「とおの物語の館」が、平成25年4月27日から供用開始されたことにより前年を上回る実績値となっているが、震災前の水準には達していない。 今後は、SL銀河運行による集客効果により、目標達成にむけ取り組んでいく。	商工観光課
					実績	39,846	40,666	47,038						
	88	中心市街地の空き店舗数（累計）	店	16	目標値	15	14	13	12	11	達成	144.4	所有者側には「店舗から自宅に転用されることに抵抗がある」「店舗を自宅と併用しているので、貸し出すのに抵抗がある」「店舗の改修に費用を要する」などの課題があるが、今後とも重点的な課題として取り組む。	商工観光課
実績					7	9	9							
89	中心市街地活性化センター（とびあ）の入居店舗数	店	33	目標値	34	34	35	35	36	概ね達成	91.4	現在、中心市街地活性化センター2階部分に市役所機能が移転しており、空き店舗スペース及び催事イベントスペースが無い状況が続いている。	商工観光課	
				実績	32	32	32							
90	人材育成研修実施回数	回	2	目標値	2	2	2	2	2	達成	250.0	キャリア形成促進支援若手中堅社員ステップアップ研修として、市内の若手・中堅職員を対象に、求められる役割や認識、必須となるスキルの習得を図り、将来のリーダー幹部候補者を育成するべく研修を行った。 9月10日、9月11日、10月10日、10月11日、11月8日 延べ101人参加	商工観光課	
				実績	2	3	5							
91	高校生就職希望者就職率	%	95.6	目標値	100	100	100	100	100	達成	100.0	就職希望者76人全員の就職が確定した。	商工観光課	
				実績	100	97.5	100							
92	観光客入り込み数	万人	60	目標値	62	63	64	65	66	未達成	79.7	東日本大震災以降大幅に減少した観光施設の入込人数が戻りつつあるが、震災前の水準までは到達していない。宿泊施設については震災直後よりも減少傾向にある。 【主な施設】 遠野ふるさと村 3.5万人(1割減)、伝承園 4.7万人(1割減)、遠野市立博物館 2.1万人(2割減)、たかむら水光園 7万人(0.3割減)、宿泊施設 9.6万人(1.5割減)	商工観光課	
				実績	61	54	51							
93	道の駅利用者を含む観光客入り込み数	万人	198	目標値	200	202	202	203	204	未達成	89.1	東日本大震災以降大幅に減少した観光施設の入込人数が戻りつつあるが、震災前の水準までは到達していない。宿泊施設については震災直後よりも減少傾向にある。 【主な施設】 道の駅風の丘 98万人(0.2割減)、道の駅みやもり 31万人(2割減)、観光施設 41.4万人(0.5割減)、宿泊施設 9.6万人(1.5割減)	商工観光課	
				実績	219	193	180							

遠野市総合計画後期基本計画まちづくり指標（平成25年度実績）

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (21年度)	年度別目標と実績					達成状況	達成率	成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	23年度	24年度	25年度	26年度					27年度
3 活力を創意で築くまちづくり (42指標)	94	お出迎え隊の延べ参加者数	人	350	目標値	370	380	390	400	410	未達成	30.8	平成25年度は、お出迎え隊を期間限定で取り組んだ。市内観光関係者と市内保育園児で編制した「ざしきわらし隊」で、7月下旬から8月にかけて「夏休み遠野駅でのおもてなし作戦!!」と題して、遠野駅前で観光客・帰省客のお出迎えに取り組んだ。平成26年度は、S/L銀河運転時に遠野駅・宮守駅にて関係機関と連携し取り組み予定である。	商工観光課
					実績	20	1,149	120						
	95	宿泊客数	人	70,840	目標値	71,800	72,800	73,800	74,800	75,800	達成	129.7	目標を上回る入り込みとなったが、前半まで被災地から利便性の高い当市を拠点とした復興支援関連の宿泊客が含まれており、純粋な観光客の入り込み増に至っていない。 【種類別】 ホテル 4.3万人(0.2割減)、旅館 2万人(2.5割減)、民宿 1.7万人(2割減)、その他宿泊施設 1.6万人(2割減)	商工観光課
					実績	165,226	111,601	95,684						
	96	農家民泊数(累計)	件	113	目標値	115	115	120	120	120	達成	112.5	教育旅行や企業研修などの滞在型ツーリズムの民泊需要が増え、農家民泊数の増加にもつながった。	連携交流課
					実績	123	129	135						
	97	定住者世帯数(18年度以降の累計)	世帯	21	目標値	30	35	40	45	50	達成	132.5	平成25年度の定住者は10世帯16人。依然、空き家の確保が課題であり、リフォーム事業助成金の利用促進及び市内不動産業者、区長会と連携し物件確保の上、更なる定住促進を図る。	連携交流課
					実績	32	43	53						
	98	ふるさと市民の人口(累計)	人	639	目標値	1,000	1,200	1,400	1,600	1,800	達成	130.6	友好都市・愛知県大府市を中心とした支援の継続などから増加につながり、特に中京地区本部においては、延べ500人達成セレモニーを挙行することができた。 また、遠野細人会や企業研修等で来遠した方々への加入依頼を徹底したことにより、年間341人の加入を達成した。	連携交流課
					実績	1,182	1,488	1,829						
99	地域間交流事業参加者人口	人	1,143	目標値	1,100	1,050	1,100	1,200	1,100	達成	230.6	武蔵野市家族ふれあい自然体験や大府市民ツアーの受け入れを行い、友好都市との交流を深めた。むさしの青空市に出店を行い、遠野市の特産品を販売しPRすることができた。菊池市、西米良村とは住民相互交流を行ったほか、菊池市広域連合視察研修受入等を行うことにより交流を深めた。また、「平成・南部藩」交流事業は、子どもサミットや一日国替えを行うことにより、平成・南部藩構成市町と友好関係を深めた。 新たに、旧土洲中学校を拠点とした富士ゼロックス(株)の新任社員研修・NLP研修の受入を行うことにより、交流人口の拡大につながった。また、劇団わらび座『遠野物語』全国ツアーを友好都市等の各地公演において遠野をPRした。	連携交流課	
				実績	1,436	1,916	2,537							
100	中学生・高校生の海外派遣数	人	9	目標値	19	14	19	14	19	未達成	47.4	アメリカ・チャタヌーガ市へ中学生の海外派遣を実施した。(市内中学生9人、引率2人) 遠野高校が実施していたニュージーランド・クライストチャーチ市との海外交流事業については、平成24年度以降、震災の影響により中止となったまま現在に至っている。今後は、交流先であるクライストチャーチ市の意向を尊重しながら、今後の実施について検討していく。	生涯学習スポーツ課	
				実績	9	9	9							
101	姉妹都市への市民派遣数	人	19	目標値	0	15	0	50	0	/	/	隔年実施のため、今年度は行わなかった。平成26年度にイタリア・サレルノ市との姉妹都市締結30周年事業にあわせ訪問ツアーを実施することから、事前準備講座等を実施した。	生涯学習スポーツ課	
				実績	16	0	0							
4 ふるさとの文化を育むまちづくり (24指標)	102	小学校標準学力検査偏差値	偏差値	53.2	目標値	53.3	53.3	53.4	53.4	53.5	達成	100.0	全体としては、目標を達成している状況である。 学年ごとの結果を見ると、市内11校において、2年生では9校、3年生では10校、4年生では11校、5年生では10校、6年生では5校が全国平均を上回っている状況である。 各学校においては、結果を分析し、授業改善及び個別指導の資料として活用している。	学校教育課
					実績	52.5	52.4	53.4						
	103	中学校標準学力検査偏差値	偏差値	50.3	目標値	50.4	50.5	50.6	50.7	50.8	概ね達成	94.3	全体としては、目標を概ね達成している状況である。 学年ごとの結果を見ると、市内3校において、全国平均を上回っているのは、1年生での1校だけという状況である。 各学校においては、結果を分析し、授業改善及び個別指導の資料として活用している。	学校教育課
					実績	49.1	48.5	47.7						
	104	学習定着度状況調査(小学校)	県平均を上回る点差	1.4	目標値	(+1.6)	(+1.7)	(+1.8)	(+1.9)	(+2.0)	概ね達成	99.9	岩手県学習定着度状況調査の県平均点は、70.9点である。目標値は、県平均を1.8点上回る72.7点である。全体としては、目標を概ね達成している状況である。 学年ごとの結果を見ると、市内小学校11校において、4年生では8校、5年生では6校が県平均点を上回っている状況である。 各学校においては、この結果をもとに補充指導及び個別指導に取り組んでいる。 *括弧内の数値は、県平均との差。	学校教育課
実績					(+2.1)	(-0.6)	(+1.7)							
105	学習定着度状況調査(中学校)	県平均を上回る点差	0.0	目標値	(+0.2)	(+0.4)	(+0.6)	(+0.8)	(+1.0)	概ね達成	93.6	岩手県学習定着度状況調査の県平均点は、60.8点である。目標値は、県平均を0.6点上回る61.4点である。全体としては、目標を概ね達成している状況である。 学年ごとの結果を見ると、市内中学校3校において、2年生では1校、3年生でも1校が県平均点を上回っている状況である。 各学校においては、この結果をもとに補充指導及び個別指導に取り組んでいる。 *括弧内の数値は、県平均との差。	学校教育課	
				実績	(-2.7)	(-3.0)	(-3.3)							

遠野市総合計画後期基本計画まちづくり指標（平成25年度実績）

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (21年度)	年度別目標と実績					達成状況	達成率	成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	23年度	24年度	25年度	26年度					27年度
4 ふるさとの文化を育 むまちづくり (24指標)	106	学校給食食材に占める地場産物使用割合	%	63.0	目標値	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	達成	104.0	年間を通して給食メニューの工夫を図るとともに、「遠野まるごと給食」を年3回実施するなど、産直組合と連携しながら遠野産食材の使用に努めた。	学校給食センター
					実績	65.3	69.5	67.6						
	107	市民センター施設の利用件数（スポーツ施設除く）	件	4,229	目標値	4,050	4,050	4,100	4,150	4,200	達成	115.0	各種サークル、団体の活動拠点として利用されている。今後も生涯学習などの充実により利用件数の増加が見込まれることから、利用団体の使いやすい施設運営を推進する。	市民協働課
					実績	4,859	4,662	4,714						
	108	市民センター施設の利用者数（スポーツ施設除く）	人	171,567	目標値	173,300	175,000	176,700	178,500	180,200	概ね達成	91.5	昨年度と比較し利用者数は微増したものの年度別目標値には達していない。今後も生涯学習などの充実により利用件数の増加が見込まれることから、利用団体の使いやすい施設運営を推進する。	市民協働課
					実績	162,890	153,731	161,655						
	109	全講座における継続的な学習機会の割合	%	40.9	目標値	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	達成	100.0	多様な市民ニーズに対し、地区センターと連携し講座を企画した。今後も市民が参加しやすいように企画し、計画的に講座を開催する。	生涯学習スポーツ課
					実績	41.1	38.6	40.0						
	110	市民センター・地区センター生涯学習講座の延べ受講者数	人	4,682	目標値	4,730	4,760	4,790	4,820	4,850	概ね達成	94.7	生涯学習講座の開催は、遠野市教育文化振興財団へ業務委託していることから、引き続き連携して魅力的な講座開催に努める。	生涯学習スポーツ課
					実績	5,062	4,513	4,535						
	111	家庭教育講座等の延べ参加者数	人	750	目標値	900	900	950	950	1,000	達成	108.5	小中学校、各町地域教育協議会と連携し、家庭教育力の向上などを目的とした「家庭教育区セミナー」や、「地域で子どもを育てる活動発表会」を実施した。家庭及び地域で子どもたちを育てる教育力のさらなる向上を目指し、今後も様々な講演会等を実施していく。	生涯学習スポーツ課
					実績	1,214	1,098	1,031						
	112	芸術文化協会加盟団体の自主事業数	回	12	目標値	12	12	13	13	14	達成	123.1	大ホール5回、中ホール2回、交流ホール1回、他のあえりあ遠野会場2回、まちなかギャラリー1回、みやもりホール5回と各会場で開催した。引き続き発表の場を提供し、芸術文化の振興に努める。	生涯学習スポーツ課
					実績	11	15	16						
	113	市民協働の芸術文化事業の参加者数	人	2,099	目標値	1,890	1,900	1,940	1,950	1,980	達成	108.2	目標値は達成したが、参加者数は昨年度よりも減少している。引き続き関係団体と魅力ある事業の企画をし、参加者数の向上を図る。	生涯学習スポーツ課
					実績	2,027	2,293	2,099						
	114	市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数	人	10,414	目標値	8,000	8,250	8,500	8,750	9,000	達成	104.5	目標値は達成したが、鑑賞者数は昨年度よりも減少している。参加者数の向上と同様に、関係団体と魅力ある事業の企画をし、多くの方が鑑賞できるように努める。	生涯学習スポーツ課
					実績	7,508	9,693	8,880						
	115	博物館入館者数	人	22,470 (20年度)	目標値	35,000	36,700	38,500	40,500	42,500	未達成	55.6	震災以降、団体観光客が減少しており、目標が未達成となった。4月～1月まで前年度比70%前後で推移してきたが、町家のひなまつりに合わせた特別展の効果もあり、2月・3月は前年の200%前後の入込となった。今後もPR活動の充実を図る。	文化課
				実績	22,605	28,014	21,424							
116	博物館講座等の受講者数	人	815	目標値	850	870	880	900	920	達成	103.8	学校と連携を図りながら、博物館教室等を実施し、目標を達成することができた。今後も出前教室・資料貸出、展示解説など利用者のニーズに応じた活動を展開していく。	文化課	
				実績	780	909	913							
117	図書館の利用者数	人	18,089	目標値	19,100	19,300	19,500	19,700	19,900	概ね達成	98.8	閲覧室の利用が減ったが、図書室利用は前年並みであったため、目標は概ね達成することができた。新刊図書も含め蔵書の充実を図るとともに、利用者のリクエストにも応じながら、利用しやすい環境づくりに努める。	文化課	
				実績	20,640	20,638	19,257							
118	市民への図書貸出冊数 *近年の読書傾向や児童数の減少等から、平成24年度に目標値を見直した。	冊	65,004	目標値	102,000	80,600	81,000	81,300	81,600	未達成	86.8	利用者のリクエストにも応じながら新刊図書を含め、多分野にわたる蔵書の充実を図り、利用者が利用しやすい蔵書構成、環境づくりに努める。	文化課	
				実績	70,682	71,706	70,273							
119	移動図書館車の貸出冊数	冊	10,032	目標値	10,200	10,300	10,400	10,500	10,600	達成	108.1	中学校にも図書貸出を始めたが、利用者のリクエストに応じながら、細やかに巡回したことにより目標を達成することができた。今後も、利用者のリクエストに応じながら読書普及に努める。	文化課	
				実績	10,823	11,618	11,243							

遠野市総合計画後期基本計画まちづくり指標（平成25年度実績）

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (21年度)	年度別目標と実績					達成状況	達成率	成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	23年度	24年度	25年度	26年度					27年度
4 ふるさとの文化を育むまちづくり (24指標)	120	学校図書館への貸出冊数	冊	12,510	目標値 13,200	13,400	13,600	13,800	14,000	達成	111.4	平成25年度から中学校にも貸出を開始した。今後も小中学校と連携を図りながら図書を貸出し、読書普及に努める。	文化課	
	121	指定文化財説明板設置件数（累計）	基	40	目標値	48	56	64	72	80	達成	125.0	前年度に引き続き計画を前倒しして実施した。今後も老朽化した標柱、説明板を優先にし計画的に設置を行い、指定文化財の周知と啓発に資する。	文化課
					実績	45	69	80						
	122	民俗芸能の映像記録件数（累計）	件	17	目標値	19	20	21	22	23	達成	100.0	堅実に映像記録の目標を達成した。	文化課
					実績	19	20	21						
	123	遠野文化研究センター活動の参加者	人	—	目標値	50	65	80	90	100	達成	597.5	土曜講座や金曜夜の読書会などの開催により、市民へ学習の機会を提供することができた。 ①土曜講座参加者数239人（8回開催） ②金曜夜の読書会・遠野古事記を読む参加者数172人（11回） ③「遠野物語の日」記念事業 まちなか妖怪探検参加者数31人 ④語り部スクーリング参加者数36人（5回）	調査研究課
実績					4,248	1,665	478							
124	遠野文化フォーラム参加者	人	—	目標値	100	110	120	130	140	達成	250.0	佐々木喜善没後80周年であることから、佐々木喜善ルネッサンス「グリム兄弟と佐々木喜善」をテーマに、11月2日にはとおの物語の館内・遠野座で高橋克彦顧問による佐々木喜善作品の朗読のタペを開催。11月3日にはあえりあ遠野交流ホールでドイツからグリム博物館長やグリム童話の研究者を招いて遠野文化フォーラムを開催し、日本のグリムと称された佐々木喜善の業績を改めて検証することができた。 ①遠野文化フォーラム 佐々木喜善朗読のタペ参加者数100人 ②遠野文化フォーラム参加者数200人	調査研究課	
				実績	500	250	300							
125	遠野こだわりの「語り部」認定者数	人	376	目標値	550	600	650	700	750	概ね達成	94.2	平成25年度は、昔話2人、子供語り部21人、歴史6人、食2人、郷土芸能2人の計33人を認定し、累計で612人となった。今後は市中心部で行っていたスクーリングに加えて、地区センターを会場にスクーリングを行うなど、市民への啓発を図りながら認定者数の拡大を目指す。	調査研究課	
				実績	531	579	612							
5 みんなで考え支え合うまちづくり (16指標)	126	市内河川清掃参加者数	人	8,579	目標値	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	概ね達成	92.7	参加者全体では153人の減少で一般地区住民は高齢化により参加者が減少したが、少子化の中にある小・中学生は早朝からの作業であったが参加者が微増した。	環境課
					実績	8,385	8,034	7,881						
	127	道路環境整備参加者数	人	2,698	目標値	2,750	2,800	2,850	2,900	2,950	達成	479.3	小・中学生は、河川清掃にあわせ道路のゴミ拾いを行うなど、地区ごとに計画した清掃活動を行っている。参加者は目標値を上回ったが、前年度の実績値より265人の減少となった。	環境課
					実績	10,482	13,924	13,659						
	128	市内花いっぱい運動参加者数	人	3,564	目標値	3,400	3,500	3,700	3,900	4,100	達成	144.5	新たに取り組む2地区が加わり、前年より約47.2%増の参加者で実施され、目標を達成した。例年の花いっぱい運動に加え、2016年10月開催のいわて国体に向けた「希望郷いわて歓迎の花」の試験的な栽培等についても推進していく。	市民協働課
					実績	3,200	3,631	5,345						
	129	みんなで築くふるさと遠野推進事業実施数	事業	66	目標値	52	53	54	55	56	達成	135.2	新規事業として31事業が実施され、新たな申請団体の掘り起こしができているので、地域住民の意見要望等を取り入れつつ、さらに活用しやすい制度の整備に取り組んでいく。	市民協働課
					実績	61	64	73						
	130	みんなで築くふるさと遠野推進事業参加者数	人	3,763	目標値	2,200	2,300	2,450	2,550	2,700	未達成	83.3	事業に主体となって取り組む参加者数は、昨年度よりは191人増加したが、目標を下回った。要因としては、42事業が継続事業であり、事業を実施するにあたって企画立案する組織の構成人員は特定化しているものと考えられる。なお、参加の延べ人数は20,159人であり、多くの住民の参加が得られている。	市民協働課
					実績	1,585	1,851	2,042						
	131	各委員、協議会の女性参画率	%	22.5	目標値	23.0	23.5	23.9	24.4	24.9	達成	114.2	遠野市総合計画審議会をはじめとする、条例等で設置されている審議会等の委員に女性を登用する意識の浸透が進み、女性の参画状況調査では3.5%伸び目標を達成することができた。今後も、ますます女性の活躍が進むよう、意識啓発を進めていく。	生涯学習スポーツ課
					実績	20.7	23.8	27.3						
132	地域活動における女性の参画率	%	23.5	目標値	24.4	25.4	26.4	27.5	28.6	未達成	83.3	遠野市総合計画審議会をはじめとする、条例等で設置されている審議会等への女性委員の登用率は伸びたものの、地域活動における参画率は伸び悩んだ。今後は、地域での女性の活動が進むように女性団体等と協力し、積極的な女性の登用について呼びかけを進めていくとともに、女性が活動しやすい環境づくりに取り組んでいく。	生涯学習スポーツ課	
				実績	23.4	24.2	22.0							

遠野市総合計画後期基本計画まちづくり指標（平成25年度実績）

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (21年度)	年度別目標と実績					達成状況	達成率	成果・評価	担当課		
		指標名	単位		区分	23年度	24年度	25年度	26年度					27年度	
5 みんなで考え支え合 うまちづくり (16指標)	133	市長と語ろう会開催回数	回	27	目標値	18	18	18	18	18	未達成	61.1	「みんなで考えよう、遠野の未来」と題して、市内11箇所で開催した。市の財政状況や、使用料・手数料の見直し案の説明を行いつつ、遠野の未来についての共通理解を深めることができた。参加者数は319人であり、発言数は180あったことから、対応できるものから順次取り組んでいる。 平成26年度は、次期総合計画策定に向けた、市長と語ろう会を開催することとしている。	企画・秘書 広報担当	
	134	経営改革大綱実行計画の達成率	%	87.6	目標値	80.0	80.0	90.0	90.0	100.0	未達成	82.2	前年度よりも改革の取り組みが進んだものの、目標値に近づくことはできなかった。 全体進捗率も計画値72.8%に対して57.2%と、改革のスピードが上がっていない。 集中豪雨災害の対応など緊急を要する事案により取り組みの遅れや、行動計画策定後の情勢の変化などによる達成率の低い項目については、行動内容を見直しながら、今後も経営改革を進める。	企画・秘書 広報担当	
	135	国土調査進捗率	%	81.3	目標値	81.7	82.0	82.4	82.8	83.5	達成	101.5	調査対象面積533.18km ² 中、調査済み面積445.77km ² 。 平成25年度の調査は、計画面積のとおり実施した。今後も国土調査の早期完了に向け、調査体制の強化方法を検討しながら事業推進を図る。	建設課	
	136	市税等の収納率（現年分）	%	96.14	目標値	96.26	96.31	96.34	96.38	96.40	達成	101.2	公金関係課による催告書の共同発送を、4月・7月・11月の3回実施し、その翌月の5月・8月・12月を徴収強化期間として、電話催告や訪問催告を実施したことにより、現年度分の収納率が前年対比で0.03ポイント伸びた。 また、税務課窓口へ納付啓発ディスプレイの設置やチラシ、広報による納期内納付の啓発活動を実施した。 今後も滞納整理専門チームにおいて、共通滞納者の生活実態や滞納処分状況等の情報共有を図りながら、積極的な啓発活動を展開して収納率の向上に結びつける。	税務課	
	137	経常収支比率（普通会計）	%	83.4	目標値	85.9	85.8	85.7	85.6	85.5	達成	100.0	財政の健全化を示す「経常収支比率」は、前年度よりも2.3ポイント減少の78.7%という結果になった。 震災復興財源の確保を目的とした職員給与の減額や定員管理計画に基づく職員数の削減により、人件費が前年度と比べ212,796千円減額（経常収支比率3.0ポイント減少）したこと等が主な要因である。 なお、達成率は、目標値の範囲内であることから100%とした。	財政担当	
	138	実質公債費比率（普通会計）	%	15.3	目標値	14.1	14.9	15.6	16.3	17.0	達成	100.0	標準財政規模に対する一般会計が負担する元利償還金等の比率を表す「実質公債費比率」は、前年度よりも1.2ポイント減少の10.8%という結果になった。 平成25年度から総合防災センター、とおの物語の館等の整備に係る起債償還の開始に伴い公債費が増額となった。しかし、この指標は、直前3カ年の比率の平均をもって算出する値であることから、平成24年度に実施した社会福祉法人の施設整備事業費借入金に係る債務負担行為に基づく補助金（繰上償還充当財源分）の増額助成による繰上償還を実施したことにより、準元利償還金の残高が減額したこと等が主な要因である。 なお、達成率は、目標値の範囲内であることから100%とした。	財政担当	
	139	建設事業に充当した市民1人当たりの借入金残高（普通会計）	千円	442	目標値	548	564	600	598	651	達成	100.0	健全財政5カ年計画に基づき地方債の発行額を計画的に行った結果、普通会計における市民1人当たりの借入金残高の実績額は497千円という結果になった。 なお、達成率は、目標値の範囲内であることから100%とした。	財政担当	
	140	市職員数	一般職員	人	356	目標値	345	339	331	323	315	達成	0.0	平成23年度から平成27年度までの第二次定員管理計画を策定し、それに基づき定員管理を進めた。平成25年4月1日現在では、計画値384人に対して実職員数は377人で、計画より7人前倒しとなっている。	総務課
			消防職員	人	53	目標値	53	53	53	53					
			計	人	409	目標値	398	392	384	376	368				
	141	市民窓口サービス年間取扱件数 *震災により、とびあ庁舎に移転したことから、平成24年度に目標値を見直した。	件	9,605	目標値	9,650	4,000	4,050	4,100	4,150	達成	111.2	とびあ内にある市民サービスコーナーの取扱件数が、前年度より増加した。土日、祝日等の窓口サービスが市民に定着している。 また、市民課の総合窓口案内は、平成24年度から開始しており、様々な問い合わせに対し、随時担当課に確認するなどして対応をしている。	市民課	
				とびあ窓口サービス	9,466	目標値	9,500	3,850	3,900	3,950					4,000
				小友郵便局窓口サービス	139	目標値	150	150	150	150					
						実績	191	250	228						